根抜樹應花思斷　○●●○○●●
骨傷魚豈浪情搖　●○○●●○◎
偏憑延喜開元曆　○○○●○○●
東北廻頭拜斗杓　○●○○●●◎

※脚韻は下平声「蕭韻」　韻字は「凋・朝・消・搖・杓」である。

訓読

・天は　長寒して　万物凋むを　愍れび
・晩冬　早春の朝を　催立す
・淺深　何れの水か　氷猶　結べる
・高卑　山として　雪消えざること無し
・根抜けたる樹　應に花の思ひ　斷ゆべし
・骨傷むる魚　豈　浪の情　搖がむや
・偏に　延喜　元暦を　開くを憑み
・東北に　頭を廻らして斗杓を拝せしを